

議案第 2 号

令和 7 年度公立学校共済組合盛岡宿泊所事業計画及び予算について

令和 7 年度公立学校共済組合盛岡宿泊所事業計画及び予算について、公立学校共済組合運営規則第 6 0 条第 2 項第 3 号に基づき議決を求めるものである。

令和 7 年 2 月 7 日

公立学校共済組合岩手支部

支部長 佐 藤 一 男

令和7年度公立学校共済組合盛岡宿泊所事業計画及び予算

1 事業計画及び予算の考え方

公立学校共済組合宿泊施設の運営は、令和6年3月に制定された宿泊施設運営要綱に基づき、本部、支部、施設がそれぞれの役割を果たし、独立採算を原則とした施設運営を行うことを求められている。

このことを踏まえ、令和7年度事業計画及び予算については、施設運営に必要な設備改修の実現に向け、更なる収益力の拡大と保有資金の増加を図ることを目的としている。

しかしながら、働き方改革の推進やコロナ禍の影響により、職場における宴会離れが進んでおり、主力である宴会部門は思うような回復に至らず、更に物価の上昇や賃金の引上げ、人材不足など、経営を取り巻く環境は極めて困難な状況であることから、より一層、支部と施設の連携を強化するとともに、外部専門家等の指導やアドバイスを積極的に活用し、効果的な取組みを実施しなければならない。

また、職域貢献事業の推進に取り組み、福利厚生施設としての存在意義を高めるとともに、宿泊施設を運営する上での関係法令の遵守を徹底し、組合員をはじめ、お客様に安全と信頼を与えるとともに、職員が誇りを持って安心して働ける施設を目指す所存である。

2 経営基本理念

- ・ 「お客様の要望を原点とし、3つの心《誠意・感謝・安心》でお客様をお迎えし、もう一度来館したいと思える施設を目指す」
- ・ 「職員が誇りと豊かな生活を享受できる環境づくりを目指す」

3 基本方針

経営基本理念及び数値目標の達成に向け、全館及び部門別の基本方針は次のとおりとする。

(1) 全 館

- ア 売上目標値の達成と経費コントロールによる収益性の拡大を図ること。
- イ サービスの改善は組織的に取り組み、情報共有を図りながら、更なるお客様の満足度向上を図ること。
- ウ 職域貢献事業を推進と各種法令遵守の徹底に取り組むこと。
- エ 支部と協力し施設の老朽化に対する検討及び対策を実施すること。

(2) 部門別

① 宿泊部門

- ア レベニューマネジメントの導入を推進し、料金コントロールによる集客と売上の増加を図ること。
- イ 二食付き宿泊プランを積極的に開発し、利用単価の増加を図ること。

- ウ 顧客情報を基に設備の補修及び備品等の導入を実施し、更なる快適性とサービスの向上を図ること。

② 会議部門

- ア フォーキャスト管理による目標値達成に向けたマネジメントを徹底すること。
- イ 顧客情報を基にした新規セールス先の開拓とホームページ等の情報発信を強化し、新規利用者の獲得を図ること。
- ウ お客様の情報共有を更に徹底し、利用目的に合わせた適切なサービスの提供に努め、リピーターの増加を図ること。

③ 宴会部門

- ア フォーキャスト管理を徹底し、目標値に対する不足分への対策を早期に講じ、目標値達成を図ること。
- イ 商品やプラン開発については、外部講師等の指導や研修を活用し、顧客満足度の向上と収益性の拡大に取り組むこと。
- ウ 組合員を中心とした既存顧客や利用実績がある物件が減少した場合は、要因を明確にし、次回利用に向け適切な対策を講じること。

④ 婚礼部門

計画において数値は見込んではいないが、両家の顔合わせや結納に対応したプランを販売するとともに、結婚を祝う会や二次会等の利用促進について、組合員を中心にPRを行う。

⑤ グリル部門

- ア SNSの活用を更に推進し、ランチや各種イベント、企画商品について、効果的な販売促進による集客を実施すること。
- イ 他ホテルや近隣の飲食店等、競合相手の商品やサービスをチェックし、自施設のサービスの改善に積極的に取り組むこと
- ウ ランチメニューやイベント企画については、外部講師による他施設の好事例やお客様アンケートを基に、魅力ある商品開発とサービスの改善に取り組むこと。

4 令和7年度予算（案）と令和6年度決算見込との比較

（単位：千円、人）

項 目			7年度予算（案） （a）		6年度決算見込 （b）		増減 （a）-（b）		増減理由
			金 額	人 員	金 額	人 員	金額	人員	
収入	施設収入	宿泊	45,468	10,656	41,731	10,235	3,737	421	予約サイトの集客及び単価増
		会議	57,346	40,305	53,579	36,949	3,767	3,356	新規利用者の拡大による増
		宴会	150,341	30,658	139,210	28,198	11,131	2,460	新規利用者の拡大による増
		婚礼	0	0	0		0	0	
		Grill	38,367	18,110	38,343	19,957	24	▲ 1,847	7年度利用人数は月平均人数で算出
		その他	542	—	569		▲ 27	—	
		計	292,064	99,729	273,432	95,339	18,632	4,390	
	商品売上		3,420	—	4,237	—	▲ 817	—	自社対応による外注弁当の減
	売上高		295,484	—	277,669	—	17,815	—	
	賃貸料・その他		7,082	—	7,565	—	▲ 483	—	特定求職者助成金の減
	特別利益		0	—	0	—	0	—	
	追加費用負担金		1,100	—	1,088	—	12	—	
	保健経理から繰入金		10,000	—	11,682	—	▲ 1,682	—	使用目的に伴う減
	経常収益		313,666	—	298,004	—	15,662	—	
支出	人件費		130,412	—	125,251	—	5,161	—	給与改定による増
	材料費		67,828	—	65,732	—	2,096	—	収入増加に伴う仕入増
	営業費		90,718	—	98,385	—	▲ 7,667	—	テーブルクロス購入代等の減
	営業費用		288,958	0	289,368	0	▲ 410		
	減価償却費		12,414	—	20,138	—	▲ 7,724	—	減価償却による減
	特別損失			—	100	—	▲ 100	—	備品処分による除却損
経常費用			301,372	—	309,606	—	▲ 8,234	—	
損益	営業損益		6,526		▲ 10,611	—	17,137		
	経常損益		12,294	—	▲ 11,602	—	23,896	—	

※人件費に追加費用負担金を含む

※（ ）内の数値は収支、損益額に含まれておりません。